

## 【ダウンジャケットの洗い方】

### ① 洗える衣類かどうか、取扱表示や加工を確認します

お洗濯マニュアルの P 1 ~ P 2 を参照し、洗えるかどうかを確認します。



### ② 色落ちしないかを確認します

#### 【色落ち確認の方法】

※外国製の衣類は色落ちしやすいものがありますので十分注意してください。



原液をつけた面を下に  
タオルへ強く押さえ着色(色落ち)を確認

① 目立たないところにドライアップの原液をつけます。

② 1 ~ 2 分後に白いタオルの上に、①で原液をつけた面を下にのせ、上から強く押さえ、タオルへの着色(色落ち)を確認します。

色落ちする衣類は洗えません。

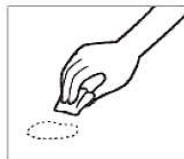
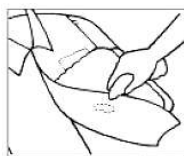
### ③ 汚れのひどい部分はブラシで前処理など準備をしましょう

#### 大切に洗うための準備！

- ・汚れのひどい部分は前処理しましょう。
- ・ファスナーやホックは閉じましょう。
- ・衣類はたたみましょう。  
たたんだ状態を最後まで保つことで、伸び・ヨレ・縮み・型くずれ・摩擦を防ぎます。



#### 前処理



- ① シミや汚れのひどい部分を裏返し、白いタオルをあてます。
- ② むれタオルなどで、シミや汚れの周囲をぬらし、輪ジミを防ぎます。
- ③ ドライアップの原液を汚れにつけ、コットンや柔らかなブラシでたたきます。

※絹衣料の場合は、必ずコットンでたたいてください。  
※エリ、そで、わき、すそなど気になるところもチェック。

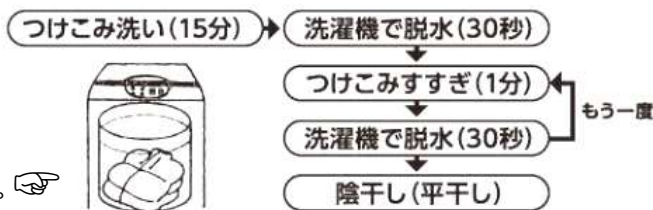
このようなシミや汚れはドライアップでは落とせません

- 日光で黄変、変色したもの
- 汚れてから日数の経ちすぎたもの
- 化学変化したもの(パーマ液・塩素系漂白剤など)
- 鉄さび、カビ、墨汁、インキ

### ④ 軽くたたんでつけ込み洗います

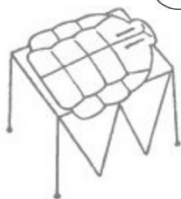
ダウン全体が洗濯液につかるよう、空気を抜きながらしっかり押し沈めます。このとき揉まないようにしましょう。ダウンが固まり、型くずれの原因になります。

全体がつかったらそのまま15分つけこみ洗い(放置)します。



### ⑤ 風通しのよいところに干します

**POINT 1** 風通しのいいところで干します。水分を含んで重くなっているので、ハンガーよりも平干しネットなど平らなところで干すほうが、型くずれを防ぐことができます。お風呂のふたにタオルをしいたものでも代用できます。



**POINT 2** 乾きかけた時に、手でかたよったダウンをほぐし、均等にしておきます。さらに乾かして、全体をポンポンとたたいてふくらみを戻せば仕上がります。洗濯により「はっ水・防水機能」が低下する恐れがありますので、洗濯後は再度はっ水・防水加工を施してください。